

麦一箱・いゑのいも一籠・うり一籠 旁の物、六月三日に給候しを、今まで御返事申候はざりし事恐入候。

此身延の沢と申処は甲斐国飯井野御牧三箇郷の内、波木井の郷の戌亥の隅にあたりて候。北には身延嶽天をいただき、

南には鷹取が嶽雲につづき、東には天子の嶽日とたけ同じ。西には又峨々として大山つづきて、白根の嶽にわたれり。

猿のなく音天に響き、蟬のさるづり地にみたり。天竺の霊山此処に來たれり、唐土の天台山親りここに見る。我が

身は釈迦仏にあらず、天台大師にてはなけれども、まかるまかる昼夜に法華経をよみ、朝暮に摩訶止観を談ずれば、

霊山浄土にも相似たり、天台山にも異ならず。